

「世界理解月間」によせて

国際ロータリー第2660地区 ガバナー
高島 凱夫



2月は「世界理解月間」に指定されています。

RI理事会は、「世界平和のために不可欠な理解と親善」を強調する例会プログラムを計画し、特別な活動に着手することによって、世界理解月間を祝うよう、すべてのロータリークラブに要請しています。

また、1905年2月23日は、ポール・ハリス、ガスターバス・ローア、シルベスター・シール、ハイラム・ショーレの4人がシカゴで初めて会合を開いた日で、ロータリーの創立記念日にあたります。ロータリーではこの日を世界理解と平和の日(World Understanding and Peace Day)と定め、この日の意義をとくに強調し、国際理解と友情と平和にむかって献身するよう要請されています。

田中 作次RI会長は「この日にあわせて平和活動を計画して欲しい」と希望されています。

このことは、昨年3月のPETSの際に、各クラブ会長様にはウグイス色のリーフレット「2012-2013年度 ロータリー世界平和フォーラム」をお配りしています。

即ち、①クラブや地区の平和フォーラムを開催する、②地域平和フォーラムを開催する、③国際双子クラブによる協力関係を結ぶ(姉妹クラブ、友好クラブ)、④ロータ

リー平和フェローを推薦する、⑤紛争の根底にある原因に取り組む奉仕プロジェクトを支援する、を検討、実施して下さいとおっしゃっています。

クラブにおいては、①国際的に活躍する卓話者を手配する、②学校や大学から交換学生や留学生をクラブ例会に招く、③研究グループ交換の元チーム・メンバーを紹介するプログラムを企画する、④世界的問題に関する討論会を開く、⑤国際的な文化芸術を主題にした催しを主催する、⑥国際色を強調した他のプログラムを計画するなど、さまざまな活動を展開していただくようお願い致します。

この機会を利用して、未実施のクラブは国際奉仕活動に新たに挑戦したり、疎遠になっている姉妹クラブ、友好クラブと連絡を取ったりしてはいかがでしょうか。2月はまた、ロータリー友情交換、あるいはその他のロータリー財団プログラムへの支援を奨励するのに格好の月です。

世界理解月間は、ロータリークラブが親善、平和、世界中の人々の相互理解といったロータリーの究極目的の探求を推進する好機です。